

ポジティブに！マルト商事の緊急じゃない宣言

新型コロナウイルス感染症で罹患された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。
また、医療従事者の皆様、病院関係の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が再び発出されました。2021年1月8日から2月7日の期間で東京、埼玉、千葉、神奈川に。1月14日から2月7日の期間で栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡。1都2府8県に。その他の県や自治体でも独自に活動制限がとられています。

今回の緊急事態宣言は前回のように社会経済活動を幅広く止めるのではなく、感染リスクの高い場面に絞って対策をするというものでした。具体的には飲食店の営業時短要請、外出自粛の要請、テレワークの推進という内容です。

2月1日現在、宣言解除となる基準には到底達していない状態です。2月一杯、若しくは、1か月後の3月7日までの緊急事態期間の延長が想定されます。

加工・業務野菜の一次加工を生業としている立場からすると非常に厳しい状況がまだまだ続くのかというのが本心です。中間事業者には補償はありません。誰の助けもない中、社内で一致団結し、知恵と工夫と新たなチャレンジをするしか生き残る道はないと切実に感じています。
生き残るために今できることを。マルト商事は新たなチャレンジとして、

「剥き玉葱加工事業において排出残渣をゼロにする」

ということを宣言したいと思います。この目標に向かってマルト商事従業員一同全力で立ち向かいます。フードロス削減やSDG'sへの取組。世界中で起こっている社会的課題です。弊社のような小さい会社が世界を語るな！とも思うのですが、小さな一歩が大事であると思い、マルト商事でも今できることに取り組んでいくことを決めました。

マルト商事の野菜一次加工事業では現在年間約900tの野菜残渣を排出しています。排出残渣ゼロへのチャレンジは、環境への負荷軽減になります。また、野菜やそれを育ててくれた方、運んでくれた方、関わる全ての方に商品を大事にする想いと感謝を伝えることになるとも考えました。更に、弊社が企業として持続可能な事業運営をするためのコスト削減が可能となります。当社社是である、事業を通じて関わる人・社会をHAPPYにできる取組の一つであると確信しています。

新たな商品としての原料。全く違った価値の発見。違う業界の困りごとを弊社の技術や商品で解決できる道がないか等、あらゆる可能性を探求していきます。まずは一つでも取組を具現化して皆様にご紹介できるようにと考えています。マルト商事のチャレンジにご期待ください！

国内玉葱情報

1月は大雪の影響により、JR貨物が青森でストップしてしまい、北海道からの玉葱の納品が大きく遅延する事態が発生しました。北海道産玉葱については既に貯蔵品での出荷となっており、今期収穫量が大幅に増大した状況ではありましたが、出荷の調整も進んだとのことで、年明けの北海道産玉葱保管量としては平年並みという形で情報が入っています。中国産玉葱が今期品薄傾向の中、相場推移も高値安定基調となっており、市場の玉葱については今後堅調に推移していくものと考えています。佐賀県を中心とする府県産玉葱の状況は順調も、作付けは昨年の早生時期の大暴落もあり大幅減と聞いています。新型コロナの影響による、業務需要と小売り需要の綱引きによると思うのですが、当社では各仕入れ先様としっかりと連携をして適正情報をお客様と共有し、安定供給に尽くして参ります。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

この原稿を書いているいま、新型コロナウイルスの感染拡大によって一部の都道府県に再び緊急事態宣言が発令されてしまっています。いまの感じでは2月7日までという当初の期限が延長になりそうで、閉まっている多くの飲食店を眺めながら、夜の8時を過ぎてからコンビニに寄ることが続きそうです。コンビニのレジで支払いをする時にいつも思うのは「しまった、ビニール袋を忘れてきた」という後悔の気持ち。以前は無料で袋に入れてもらっていたのに、いくら環境のためとはいえ、不自由になったものです。

セコマは北海道で一番有名なコンビニですが、20年7月に始まった「レジ袋有料義務化」を見送ったことでも有名です。今でも環境配慮のレジ袋を無料配布していますが、それはゴミ袋のためにビニール袋を購入するようになればかえってマイナス効果となりかねないとの考えからだそうです。たしかに、レジ袋を有料化することは一見、環境に優しいようなイメージがありますが、環境問題はそんなに単純なものではありません。これも最近、トヨタ自動車の社長がガソリン自動車をなくすという話題を受けて、実は電気自動車の製造にどれだけ環境負荷がかかっているかを熱く語っていました。

話はそれでしたが、セコマは北海道大学などと共同で、フードロス削減を目的とした共同事業体を設立し、今後取り扱うすべての葉物野菜を対象にプラチナ触媒で青果物を新鮮に保つ技術を活用したり、卵パックや段ボールの再利用で回収の際の物流ルートの構築など、環境問題への取り組み方が場当たりのではなく実践的であることが特徴です。地域の特産物を用いた商品も一度の使い捨てにはせず、地域の活性化のために長く持続可能な協力関係にできるようにしています。新型コロナ下であったとしても、未来を見据えての活動には学ぶことが多くあります。

『絶滅危惧個人商店』という本を最近読みました。この本には精肉店や青果店、書店、玩具店、銭湯など、多種多様な個人商店と、個性豊かな商店主の営業努力が紹介されていました。例えば、商店街で約40年営業する精肉店は、客が煮込むカレーの時間に応じてお肉を販売しています。お客の嗜好に合わせた細かな対応をすることにより、地元消費者の支持を集めています。ある靴店では、計測では分からない足形の特徴にあわせて微調整して、履き心地の良い靴を販売するというサービスをしています。

アフターコロナの時には、きっと消費の欲求は回復するはずですが、消費者の嗜好は多様化し、コロナ前とは変化があるはずです。その時にそなえて、何を準備すべきなのか。北海道のセコマや消費者からの熱い支持を受け続ける個人商店から学ぶことはまだまだあるはずです。



木下康司 きのしたこうじ
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。
デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。
<http://www.kino-company.com>

2月 玉葱商品産地情報

| 産地 | | 状況 |
|--------|-----|---------------------------------|
| 国産黄玉葱 | 北海道 | 4月まで相場上昇予測 品質良好です ご注文お待ちしております！ |
| 輸入黄玉葱 | USA | — |
| 中国剥き玉葱 | 甘肅省 | 相場一層上昇 高値推移となる見込みです。品質はまずまずです。 |
| 国産赤玉葱 | 北海道 | 品位安定しています。是非ご利用ください！ |
| 輸入赤玉葱 | USA | — |

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315